

# 例会報告 Rotary



ロータリーは世界の扉を開く

第2626回例会 令和2年10月9日  
国際奉仕委員会

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 塚 和信
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 下屋 勝比古
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 榎坂 純一

## <会長の時間>

せき飛沫の飛散予測など新型コロナウイルスの対策を目的として、優先的に試行運用されているスーパーコンピューター「富岳」は、6月23日国際スーパーコンピューター会議にて実行性能を指標とした「TOP500」の部門において1位となり、計算速度で世界一となりました。2009年11月、民主党政権時代事業仕分けにより文部科学省の科学技術研究費「スーパーコンピューター開発費」が仕分けの対象となり、連舩議員の「2位じゃダメなんですか？」という発言が話題になりました。その2年後の2011年にスーパーコンピューター「京」が1位となって以来9年ぶりです。そもそもスーパーコンピューターは、気象や震災の影響などの予測に活用するもので、回転速度が速ければその予測結果を出すことも早くなります。そのため世界最速を目指します。しかし、あの時の事業仕分けの議論では「スピードが世界一になったところで利用者の使い勝手が悪ければ使われないし、すぐに抜かれるかもしれない。なぜそれなのにスピードばかりにこだわるのか」という語論の中で、「世界一になる理由は何があるのでしょうか？2位じゃダメなんですか？」という言葉が出たと思います。それに対し、文部科学省の答えは「最先端のスーパーコンピューターがないと最先端の競争に勝てない」「世界一を取ることにより国民に夢を与える」といった答えばかりで、スピードで世界一を取ることによって、具体的にどのような変化があるかについては答えが返ってきませんでした。仕分けの結果は、「予算計上の見送りに限りなく近い縮減」となりました。スーパーコンピューターの事業費としては、2005年から2012年までの7年間で1159億円の予算投入を予定していて、すでに2009年までに545億円を投入していました。最終的には予算査定や大臣折衝などを経て、2010年は268億円の要求額に対して110億円の予算が付きしました。その後、文部科学省は事業仕分けでの指摘を踏まえて、開発するスーパーコンピューターと国内のスーパーコンピューターをネットワークで結び共同化したり、開発時期を遅らせ開発総額も削減するなど計画を変更し「開発側視点から利用者側視点への転換」をしました。そして、2011年に完成したスーパーコンピューター「京」は同年6月に「TOP500」で世界一となりました。やはり1年後には抜かれ、2019年8月に電源を停止しシャットダウンするまでは、「京」は世界で20位、国内で3位でしたが、使い勝手は世界トップということでした。事業仕分けは直後から今に至るまで叩かれてきましたが、仕分けでの議論は間違っていないような気がします。「富岳」は「京」の100倍の速度がありその他に、実際のアプリでよく使われるCG法のプログラムで性能を評価する「HPCG (High Performance Conjugate Gradient)」、低精度演算での演算能力を評価し、AI処理能力評価を行なう「HPL-AI」、超大規模グラフの探索能力でコンピューターを評価し、ビッグデータ分析などでの性能を示す「Graph500」の4部門において、いずれも2位に大差をつけて、世界1位を獲得しました。理科学研究所によると、「富岳」は「富士山」の異名で、富士山の高さがポスト「京」の

性能の高さを表し、また富士山の裾野の広がり方がポスト「京」のユーザーの拡がりを意味するそうです。また「富士山」が海外の方々からの知名度も高く名称として相応しいことから命名したそうです。

しかし、世界はすでに次世代計算機「量子コンピューター」の開発が進んでいます。量子コンピューターは1980年代に概念が提唱された計算機で、昨年、グーグルは最速のスーパーコンピューターを使っても1万年かかる問題を量子コンピューターは10億倍速い200秒で解いたそうです。量子計算機関連の特許出願数は米国1852件、中国1354件に次いで日本は3位ですが、量子技術の研究論文数は中国、米国、ドイツ、英国と続き日本は5位となっています。米国、中国、EUが研究開発に国を挙げてと積極的に投資し技術力を高めている中で、日本は大きく出遅れて取り残されている気がします。スーパーコンピューターで1位を取ったと喜んでいる場合ではないのかもしれない。

## <幹事報告>

### ◎ガバナー、地区職業奉仕委員長より

- ・職業奉仕委員会研修セミナー開催のお知らせ
- 日 時 12月13日(日) 点鐘13:00 終了16:00
- 会 場 都ホテル岐阜長良川
- 参加要請対象 会長、職業奉仕委員長

### ◎ガバナー、地区会員増強委員長より

- ・『増強缶バッジ』配布の件

### ◎第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員会より

- ・第7回日台ロータリー親善会議福岡大会 中止のお知らせ

### ◎高山あすなろ会より

- ・第45回飛騨児童・生徒木工工作コンクールについて
- 高山西RC会長賞 丹生川小6年 岡田 洗甫 君
- ※コロナ対策のため、受賞作品の一般展示・表彰式ありません

## <例会変更>

- 美濃加茂 … 10月23日(金)は、柿の収穫支援事業のため、10:30~ 美濃加茂市下米田山本 に 変更
- 10月30日(月)は、定款により 休会

## <受贈誌>

- 高山RC(会報)、高山中央RC(会報)、美濃加茂RC(会報)、(社)高山市文化協会(広報高山の文化No222)

## <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
28名	-	28名	37名	75.68%

# 例会報告

## 国際奉仕委員会

高山市・デンバー市姉妹都市の  
提携経緯・交流内容について

高山市 海外戦略課 三木 愛可 様

### 1. 姉妹都市提携のいきさつ

#### ① 提携の経緯

昭和35年(1960)4月、万国郵便会議(Universal Postal Conference)に出席した米国コロラド州デンバー市代表者から「日本の都市と姉妹都市になりたいが、適当な都市を紹介してほしい」という依頼があり、名古屋郵政局(Nagoya Postal Bureau)から高山市に勧めがあった。

高山市では、「コロラド州の首府デンバー市は、優秀な施設を誇る商工業都市でもあり、将来の発展が約束されている青年都市として、その占める位置と性格は高山に最も似ている」という点からみて、高山市の姉妹都市候補としてデンバー市が最適であるとの意見が一致し、同年6月27日の高山市議会において「姉妹都市提携申し込みについて」協議することにし、同日原案が可決された。

それを受け、同年7月29日、デンバー市から姉妹都市提携宣言書が送られ、高山市とデンバー市の姉妹都市提携が結ばれた。

現在1,700以上の海外姉妹都市縁組がある中、岐阜県下では初めて、全国でも30番目の海外姉妹都市縁組で、山間の地方都市としては画期的なことであった。

提携以来、デンバー市とは主に人的交流を中心に活発な交流が展開されて来た。高山市とデンバー市の多くの使節団がそれぞれお互いを訪問しており、平成15年(2003)3月には姉妹都市交流を記念してデンバー市から高山市内の友好の丘にモニュメントが贈られた。

昭和58年(1983)からは、若者による交流を通して永続する友好関係を促進すると同時に若者の異文化理解と国際感覚の醸成を目指す目的で、高校生相互派遣事業が行われている。

また、現在では、教育や音楽、文化、産業など様々な分野で両市民による活発な交流が行われている。

現在、日本において1,700を超える姉妹友好都市提携数がある中で、岐阜県下では初めて、全国でも30番目の海外の都市との姉妹都市提携

#### ② 姉妹都市提携の申し込みについて(高山市議会議決)

近年、日米両国の諸都市において姉妹都市の提携が進められているが、歴史的伝統を有する山岳観光都市であり、その他の点についても本市と極めて類似している性格を持つアメリカ合衆国コロラド州デンバー市との間に本市が姉妹都市としての親善友好を結ぶことは極めて有意義であると考えて、デンバー市に対し姉妹都市の提携を申し込むこととしたいので、議会の承認を求め、

昭和35年6月27日提出 即日原案可決  
高山市長 岩本 晋一郎

#### ③ 姉妹都市提携宣言書(デンバー市宣言) 姉妹都市提携成立: 1960年7月29日

日本国高山市から、アメリカ合衆国政府の後援による国際親善の計画の下における姉妹都市についてデンバー市と提携することについて求められた。

高山市は、日本の中央部の山岳地帯にあり、我々の都市に比すべき多くの背景と伝統を持っている。かつ、日本と合衆国との間の交通商条約100年にあたり、そのような友愛の絆は最も時宜を得たことであり、そのような関係は我々がフランスのプレストと取り交している提携に影響しないものであり、国際間の理解と友愛を増進するというデンバーの努力を完全なものにし、重要性を加えるものである。ここに、コロラド州デンバー市長リチャード・Y・バタートンは日本国高山市とアメリカ合衆国コロラド州デンバー市が姉



妹都市であることを宣言し、全てのデンバー市民に高山市長との自由意思による友愛の絆を承認するよう、及びあらゆる機会にこの二つの市の間の親密な親族関係を養うよう要請する。

以上を証するため、私はここに1960年7月29日に署名し、及びデンバー市の印章を押させた。

デンバー市長 リチャード・Y・バタートン

### 2. これまでの交流概要

#### ① 公式訪問団相互派遣

高山市、デンバー市の友好親善を一層深め、幅広い分野での継続的な交流の促進を図るため、相互に公式訪問団を派遣している。

両市長の他、市代表、民間交流団体代表などが団長となり5・10周年記念年次並びに国際障がい者年など記念の年に相互派遣。

高山市→デンバー市 12回 延べ402人

デンバー市→高山市 20回 延べ302人 合計延べ704人

※2020年は姉妹都市提携60周年を記念し、公式訪問団を相互派遣

予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により取り止め特記事項

i) マイケル・ハンコック(Micael B Hancock) デンバー市長は、姉妹都市提携50周年を記念した2010年にはデンバー市議会議員で使節団団長として来訪した他、55周年を記念した2015年には市長として高山市を来訪し、記念事業に参加。

ii) 國島芳明市長は、高山市職員時代にデンバー市との姉妹都市交流に関わり、市長就任前の副市長の折りにもデンバー市を訪問している。市長就任後も、公式訪問団を率いてデンバー市を訪問している他、アメリカにおけるトップセールス(高山プロモーション)の一環として複数回デンバー市を訪問している。

iii) 歴代の両市長は折に触れて相互に訪問し合い、市長同士の絆を強め、両市交流の牽引役を果たして来た。

#### ② 高校生相互派遣

この事業は、若者による交流を通して永続する友好関係を促進し、また、高校生といった若い人々の国際理解教育を目指す目的で昭和58年(1983)から実施している。滞在中はホームステイや各種プログラムをとおして、双方の生活習慣や文化を学ぶ。

事業主体 高山市：高山・デンバー友好協会

(Takayama-Denver Friendship Association=TDFA)

デンバー市：デンバー高山姉妹都市委員会

(Denver Takayama Sister City Committee=DTSCC)

高山市→デンバー市 17回 延べ205人

デンバー市→高山市 16回 延べ166人 合計延べ371人

※2020年は6月(7-13)に第17次デンバー高校生訪問団(高校生10人、引率2人)を高山市にて受け入れ予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止

特記事項

i) マイケル・ハンコック(Micael B Hancock) デンバー市長は、昭和60年(1985)6月に第2次デンバー高校生派遣メンバーの一員(当時15歳)として高山市を訪問。2010年にデンバー市議会議員として公式訪問団を率いて高山市を再訪した折には25年ぶりに当時の小原ホストファミリーとの再会を果たす。

ii) 当時18歳であったハンコック市長のご子息が、父親であるハンコック市長の強い勧めもあって、成田→デンバー直行便就航記念事業の一環として来日したモンテベロ高校のドラムラインメンバーとともに高山市を訪問。日本太鼓と共演、小中高校訪問してのパフォーマンスな実施。

iii) 第1次高山高校生派遣メンバーの一人が高山青年会議所理事長に就任したのをきっかけとして、デンバーチェリークreek青年会議所との交流を開始。

#### ③ 高山市内在勤研修医のコロラド大学での研修

高山市とデンバー市の医療関係者同士のネットワークの構築、外国の医療現場を体験することによって新たな知識を研修医に習得

# 例会報告

してもらうことを目的に、平成25年(2013)から実施している。研修分野も、内科、外科、ERなど多岐に渡っている。

当プログラムは、高山市でも医師確保の一助となるよう、若い研修医にとって魅力のある事業実施の一環としてコロラド大学への研修医派遣について國島市長が提唱し、在デンバー日本総領事館、デンバー市などの協力を得て実現したもの。

事業主体 高山市、TDEA、高山赤十字病院、久美愛病院  
H25(2013)4人、H26(2014)3人、H27(2015)4人、H28(2016)5人、  
H29(2017)4人、H30(2018)2人、R1(2019)4人 合計26人  
特記事項

i) 医師不足が深刻な高山市の地域医療を担う医師を確保す意味でも、医師派遣事業が研修メニュー組み込まれていることが、高山市にて研修する呼び水となっている。また、高山市から研修医を派遣するのみではなく、コロラド大学病院の医師を高山市に派遣する動きが見られ、今後の交流に期待が持てる。

ii) 令和2年度の派遣については、新型コロナウイルス感染拡大により中止

## ④ 音楽交流

万国共通語である音楽をとおして相互理解を深めることを目的に、平成6年(1994)に高山市民吹奏楽団がデンバー市を訪問し、デンバー・ムニシパルバンドとジョイントコンサートを実施したことが契機となり両市間での音楽交流が始まった。

### 吹奏楽

高山市民吹奏楽団+デンバー・ムニシパルバンド 両市で計5回  
高山西高等学校+リトルトン高校 デンバーParade of Lightsに参加  
合唱

高山少年少女合唱団+ロッキーマウンテンこども合唱団 両市で2回  
女声合唱団 ALITO によるデンバーでのコンサート

### ピアノ

デンバー市よりピアノ演奏家を招いてのコンサート 3回  
その他

高山のフルートオーケストラMusicBookによるデンバーでのコンサート  
特記事項

i) 異なるバックグラウンドを持ちながらも、音楽という共通の文化をとおして、言語の壁を越えた交流が行われている。中高生から若い社会人が交流に参加していることもあり、音楽という分野を離れても、継続的な人の繋がりが期待できる。

## ⑤ バラエティーに富んだ交流

これまで高山市における複数のジュエリー作家の作品展、デンバー市における「きり絵」作家やバスケット作家の作品展並びに文化協会による伝統芸能披露、両市の青年会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブによるビジネス関係者による交流、空手や合気道などのスポーツ交流、高山市から中学生を中心とした市民海外派遣など実にバラエティーに富んだ交流が実施されてきた。

～以上のような公式訪問団相互派遣、高校生相互派遣、各種交流をとおして、60年間で少なくとも延べ2,100以上の市民が両市を往来している。

## 3. 姉妹都市提携60周年記念事業

令和2年(2020)に姉妹友好都市提携60周年を迎えるにあたり、高山市と高山・デンバー友好協会が主体となり、関係団体とともに「高山・デンバー姉妹都市提携60周年記念事業実行委員会」を設立し、提携60周年を祝う交流事業を実施する。

【テーマ：つなぎ、つながる友情 ～Sustainable Friendship～】

### ① 高山祭屋台模型の修繕

昭和39年(1964)8月に高山市からデンバー市へ寄贈した実物の約2/3の大きさの「高山祭屋台」模型の修繕事業を実施する。

この屋台模型は、デンバー市の友好交流団体の管理の下、サクラスクエア内に展示され、来館する多くの方々に親しまれてきたが、経年劣化による傷みも多くなってきたことから、修繕を行うこととなった。(これまで、デンバー高山姉妹都市委員会のメンバーによ

り、複数回修繕がなされてきたが、60周年を契機に本格的な修繕を行うもの。)

平成31年(2019)

1月、高山・デンバー友好協会会長 平川治氏や岐阜県立高山工業高等学校の教師などがデンバー市を訪問し、屋台模型を視察し、修繕が必要な箇所の点検を行った。

その後、高山工業高等学校の生徒により、屋台模型の修繕に必要なパーツや、新たに取り付ける提灯、見送り幕などを製作され、令和元年(2019)10月に、高山工業高等学校の教師とともに同校生徒4人がデンバー市を訪問し、現地の交流団体や学生等とともに屋台模型の修繕作業を行った。



### 特記事項

i) 昭和39年(1964)第1次高山公式訪問団がデンバー市を訪問した折に、デンバー市に寄贈した屋台模型をデンバー市内に曳き出し、高山祭衣装を纏った訪問団員とともに、高山祭を再現している。

## ②公式訪問団相互派遣(新型コロナウイルス感染拡大により取り止め)

事業主体：両市

・高山市→デンバー市 令和2年(2020)年6月末に、高山市より公式訪問団をデンバー市に派遣予定

公式行事 6月26日(金) 夕刻～姉妹都市提携記念レセプション開催  
両市長挨拶、杉山晋輔 在アメリカ合衆国日本国特命全権大使による記念スピーチ、両市議会によるMOU調印などが予定されている

・デンバー市→高山市

令和2年(2020)年秋に、デンバー市より公式訪問団が高山市に訪問予定

公式行事 今後、調整し決定

## ③市民訪問団相互派遣(新型コロナウイルス感染拡大により取り止め)

事業主体 高山市：高山・デンバー姉妹都市提携60周年記念事業実行委員会  
デンバー市：デンバー高山姉妹都市委員会

・高山市→デンバー市

令和2年(2020)年6月末に、高山市より市民訪問団をデンバー市に派遣予定

記念行事 6月27日(土)と28日(日)には、毎年デンバー市で開催されている「さくら祭:Cherry Blossom Festival」に参加し、修繕した屋台とともに高山祭を再現する他、フェスティバル会場にて高山市を紹介するブースを出展予定

・デンバー市→高山市

令和2年(2020)年秋に、デンバー市より市民訪問団が高山市に訪問予定

記念行事 今後、調整し決定

## 4. 今後の交流の展望

これまでの60年の交流を礎とし、今後は両市の発展に寄与する交流を推進する。

これまで、両市行政、両市の交流を進める組織(高山：高山・デンバー友好協会/Takayama Denver Friendship Association、デ市：Denver Takayama Sister City Committee)が中心となり交流を進めて来たが、60周年を契機に、両市における企業や経済

# 例会報告

団体といったより多岐に渡る関係団体並びに関係者の参画を得て具体的な交流を進めるのに加え、歴史的にコロラド州は日系人との関りが深く、デンバー市における日系人コミュニティとの関係を深めることで日系人の参画を促し、交流の幅を広げることで、日米の交流の柱となり得る取り組みを行うこととする。

## 5. 表彰歴 (主なもの)

昭和40年(1965)8月	米国リーダーズ・ダイジェスト社主催の全米姉妹都市親善行事コンクールにおいて、前年に開催されたデンバー・高山祭が第一位を獲得
昭和54年(1979)7月	両市の国際間交流活動が評価され、リーダーズ・ダイジェスト社より表彰
昭和59年(1984)7月	両市による世界平和と相互理解に関する取り組みが評価されリーダーズ・ダイジェスト社及び前米国際姉妹都市協会より表彰
平成4年(1992)6月	両市の姉妹都市交流活動が評価され、国際親善都市連盟より表彰
平成7年(1995)7月	高山市民吹奏楽団とデンバー・ムニシパルバンドとの友好音楽交流が評価され、全米姉妹都市協会より表彰
平成18年(2006)1月	高山市が「地域づくり総務大臣表彰(国際化部門)」を受賞
平成21年(2009)4月	高山・デンバー友好協会が「平成20年度姉妹自治体交流表彰総務大臣賞」を受賞

## 6. 両市の海外姉妹友好都市

### ① 高山市の海外姉妹友好都市

姉妹都市 1960年7月 デンバー市(アメリカ合衆国コロラド州)  
 友好都市 2002年3月 麗江市(中華人民共和国雲南省)  
 2012年9月 シビウ市(ルーマニア トランシルヴァニア州)  
 2013年8月 ウルバンバ郡(ペルー共和国クスコ県)  
 2018年12月 昆明市(中華人民共和国雲南省)

### ② デンバー市の姉妹友好都市

1948年 Brest, France、1960年 Takayama, Japan  
 1975年 Nairobi, Kenya、1983年 Cuernavaca, Mexico、  
 1983年 Potenza, Italy、1984年 Chennai, India、  
 1985年 Kunming, China、1995年 Axum, Ethiopia、  
 2001年 Ulaanbatar, Mongolia、2012年 Akureyri, Iceland  
 2013年 Ramat HaNegev, Israel、2017年 Panama City, Panama

### 特記事項

- i) 中国雲南省の昆明市はデンバー市と高山市の共通の姉妹友好都市
- ii) 全国の姉妹都市提携数 2020年4月1日現在(自治体国際化協会)

自治体区分	姉妹提携数	姉妹提携自治体数	複数姉妹提携自治体数
都道府県	167	43	38
市	1,248	569	328
区	41	21	13
町	267	214	47
村	39	36	3
合計	1,762	883	429

## <ニコニコボックス>

### ●堺 和信さん、下屋 勝比古さん

- ・高山市海外戦略課 三木 愛可様のご来訪を歓迎します。高山市の姉妹都市提携、コロナの影響でどう変わったか興味深いスピーチをお願いします。
- ・季節外れの台風がやってきましたが、すっかり気温も下がりました。夜のお出かけ等体調管理にはお気を付け下さい。

### ●田中 晶洋さん

高山市 海外戦略課 三木さんのご来訪を歓迎いたします。卓話を楽しみにしています。海外戦略課の方から聞いた話では、三木さんは生き雛様にもなられたとの事。どうりで美人です。

### ●挾土 貞吉さん

- ・先週は誕生祝ありがとうございました。
- ・我が家で70代最後の誕生会、久しぶりに手にしたお猪口の酒最高の味でした。コロナに負けないよう、例会日には元気で明るくロータリー昼飯を楽しみに出て参ります。
- ・昔からホテル左官工事等でご縁を頂いている、この度入会されたグリーンホテル社長 中島 一成様とヒダ事務機の堀 幸一郎社長さん待っていました、大歓迎です。よろしくお願ひします。

### ●井辺 一章さん

先日は妻に誕生祝のお花ありがとうございました。今は入院中で大変です。

### ●堀 幸一郎さん

先週例会終了後、嫁に出した娘を迎えに藤沢市まで行って来ました。2年3か月振りの孫を連れての帰郷です。孫を生で見ると、つくづくお爺さんになってしまったんだと実感している今日この頃です。

### ●岡田 賛三さん、阪下 六代さん、米澤 久二さん、遠藤 隆浩さん、鴻野 幸泰さん向井 公規さん、塚本 直人さん、新井 典仁さん、黒木 正人さん

いよいよ飛騨の秋がやって来ました。寒暖の差も大きいので、くれぐれも体調の管理にはお気を付け下さい。東京発着のGOTOキャンペーンもはじまり、飛騨高山の人出も多くなりました。新型コロナ感染には十分注意をして経済活動を楽しみましょう!! 気を付け激しい中島一成さん、堀幸一郎さんのご入会を歓迎いたします。一緒に高山西ロータリークラブを盛り上げていきましょう。

